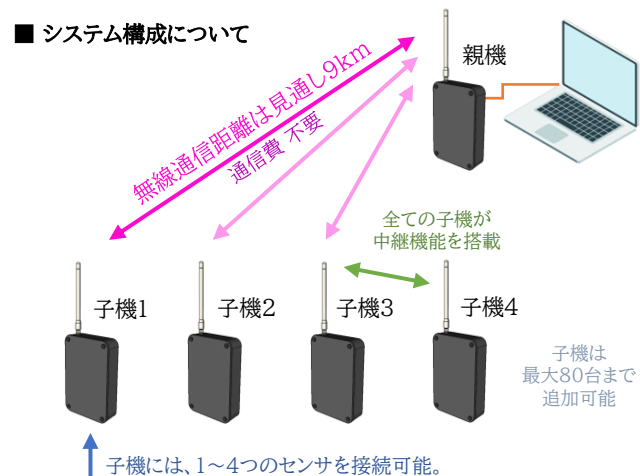
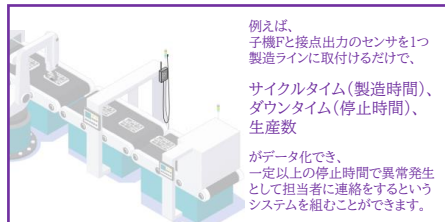


## ■ システム構成について



接点出力光センサ  
結束バンドで固定するだけで  
シグナルタワーの表示を検出



### 接続センサ例

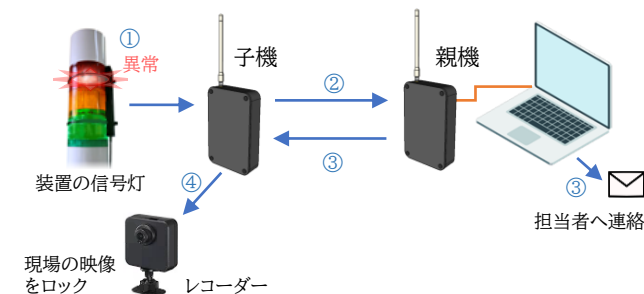


### 通信時間について

通信費不要で障害物にも強く、長距離通信が可能な本製品の無線通信ですが、1回の通信には約2秒必要となります。(中継機能を使う場合は別途時間が必要です)つまり監視間隔は子機台数や中継回数で変化することになります。

## ■ 外部機器の制御

子機には外部機器制御用の電源とリレーを搭載していますので、異常発生時に動画を残すなどの制御が可能です。



## 仕様

### 親機

入力	温湿度センサ
出力	リレー出力(C接点 接点容量1A) × 3
センサ	室温計測範囲 -9.9 ~ 80 ℃ 湿度計測範囲 0 ~ 100 %
設置	DINレール用マウントとDINレールおよび両面テープ付属
ソフト	Windows用専用ソフトウェア付属 (DVDディスクにて提供)
PCとの通信	USB
電源	USBケーブルでパソコンから供給
子機の接続台数	1グループにつき最大80台

### 子機

入力	入力1~4ch + 温湿度センサ 入力のチャンネル構成については下の表を参照。 センサ用電源の容量はDC24V 0.2A (1chあたり)
出力	リレー出力(C接点 接点容量1A) × 3 出力用電源の容量はDC24V 0.3A (1chあたり)
通信	920MHz帯の電波を使用。 見通し9km以上 密集地1~2km *環境による。 最大ホップ数は1~10回 (標準4回)
動作環境	動作保証温度 -20 ~ 60 ℃ 結露なきこと
センサ	室温計測範囲 -9.9 ~ 80 ℃ 湿度計測範囲 0 ~ 100 %
防水	非防水
設置	DINレール用マウントとDINレールおよび両面テープ付属
電源	ACアダプター (線長1.5m)
サイズ	125×190(355)×40 mm 括弧内はアンテナを含めた場合
重量	約 500g

### 子機の種類

	1	2	3	4	5	6
子機Bタイプ	信号灯上	信号灯中	信号灯下	接点[秒]	室温	湿度
子機Cタイプ	1ch瞬時値 4~20mA入力	2ch瞬時値 4~20mA入力	1chの 最大値	2chの 最大値	室温	湿度
子機Dタイプ	1ch 接点入力[回]	2ch 接点入力[回]	1chの ON時間[秒]	2chの ON時間[秒]	室温	湿度
子機Eタイプ	4~20mA入力 1chの瞬時値、平均値、最小値、最大値				室温	湿度
子機Fタイプ (接点入力1ch)	1ch サイクルタイム (確定前)	1ch サイクルタイム (確定後)	1chの 生産数 (今回分)	1chの 生産数 (累計)	室温	湿度

価格・仕様・デザインは予告なく変わる可能性があります。詳しくは弊社webページをご確認ください。

#### 開発製造元

有限会社 追坂電子機器  
720-2124 広島県福山市神辺町川南2101-3  
Mail : info-oisaka@oisaka.co.jp  
Web : http://www.oisaka.co.jp/

#### 取扱店



既存の設備に追加するだけで簡単に工場のDX(見える化)を実現!  
ランニングコストやセキュリティ問題を気にせず使える稼働率、保守管理システムです。

施設内のあらゆる設備から情報を収集して、パソコンにて一元管理を行うことの出来るシステムです。

稼働率や異常発生状況のリアルタイム把握や、接続機器の制御、担当者への通知、CSVファイルでの情報共有などが可能です。

4-20mA出力や接点出力の様々なセンサを接続可能ですので生産工場以外にも農業や倉庫、建築現場など様々な場所で活用できます。

#### 導入メリット1

設備の作動状況を把握し、稼働率や人員配置を改善

▶ 稼働状況の把握はコスト削減だけでなく、異常発生への早期対応による稼働率改善や、見積り最优化による受注率アップにもつながります。



#### 導入メリット2

修理に時間の掛かる古い設備の、故障の前兆やメンテナンスのタイミングを把握出来る。

▶ 設備の故障は製造スケジュールに変更を余儀なくされる重大な問題。センサで設備の状態を監視することで重大な故障に陥る前に対策がとれます。



#### 導入メリット3

毎日の点検作業の自動化

▶ 設備のエア圧や工場の消費電力など、定期的に点検や報告が必要な情報が多くてチェックして回るだけでも結構な時間を取られてしまう場合、遠隔での点検で大幅な工数削減が可能です。



## ■ 設備監視システムについて

施設内のあらゆる設備から情報を収集して、パソコンにて一元管理を行うことの出来るシステムです。稼働率や異常発生状況のリアルタイム把握や、接続機器の制御、担当者への通知、CSVファイルでの情報共有などが可能です。

4-20mA出力や接点出力の色々なセンサを接続可能ですので生産工場以外にも農業や倉庫、建築現場など様々な場所で活用できます。

親機と子機の間は障害物に強い920MHz帯の電波を採用しております。さらに、全ての子機が中継機能を搭載していることから無線に関する問題が発生しにくくなっております。

さらに本システムでは、通信費やサーバー管理費といったランニングコストが不要で、親機1台と子機1台の最小構成から試して必要に応じて買い足すというスモールスタートにも対応している非常に試しやすいものとなっております。

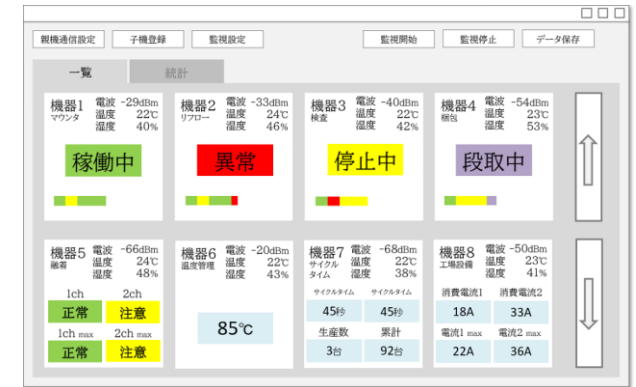


室温	22℃	湿度	46%
サイクルタイム	305秒		
生産台数	42台		
設備空気圧	0.5MPa		
機械振動	10m/s <sup>2</sup>		
加熱温度	150℃		
消費電流	22A		

## ■ PCソフトについて

付属のソフトウェアは、非常に使いやすい作りとなっており状況の一覧表示、ガントチャート表示、グラフ表示や状況の比較やデータのエキスポート、インポートやメール通知などの機能があります。

データ管理はローカルで完結しておりますので、クラウドサーバーを使う際の情報漏洩リスクなどを心配する必要はありません。



一覧表示画面



統計表示画面



メール通知機能

※メール通知機能を利用する場合には別途ネット回線が必要となります。